

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和5年11月調査)

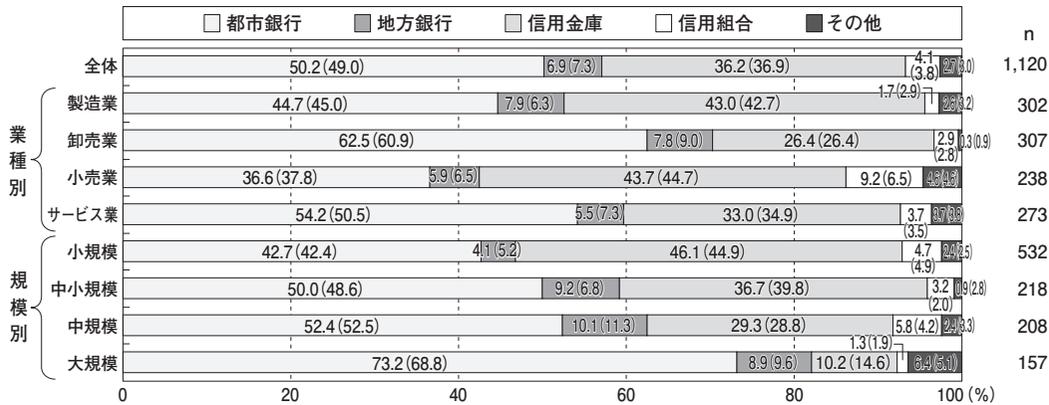
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が50.2%（前回調査49.0%）と最も高く、「信用金庫」が36.2%（同36.9%）、「地方銀行」が6.9%（同7.3%）の順で続いた。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が62.5%（同60.9%）と最も高く、小売業は「信用金庫」が43.7%（同44.7%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は73.2%（同68.8%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

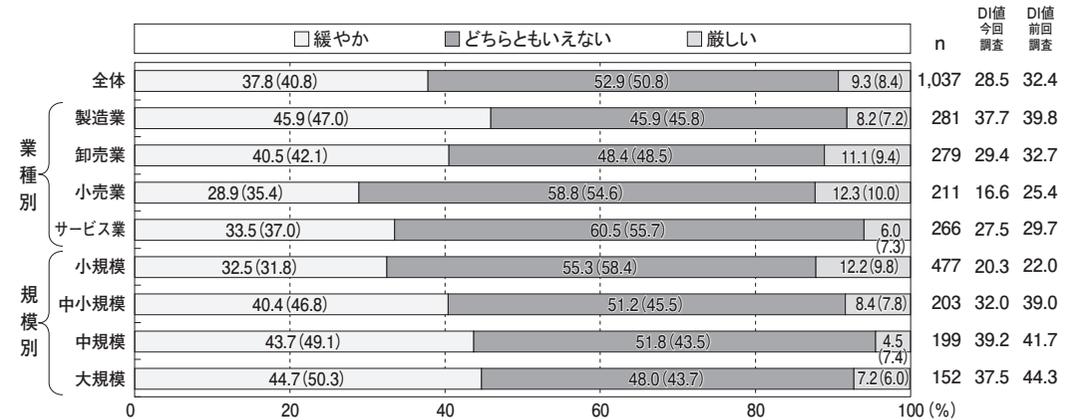
2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値(「緩やか」-「厳しい」)でみると、全体では28.5(前回調査32.4)となり、前回調査と比べて3.9ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、全ての業種で減少し、なかでも小売業16.6(同25.4)は8.8ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、小規模20.3(同22.0)、中小規模32.0(同39.0)、中規模39.2(同41.7)、大規模37.5(同44.3)はいずれも減少した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

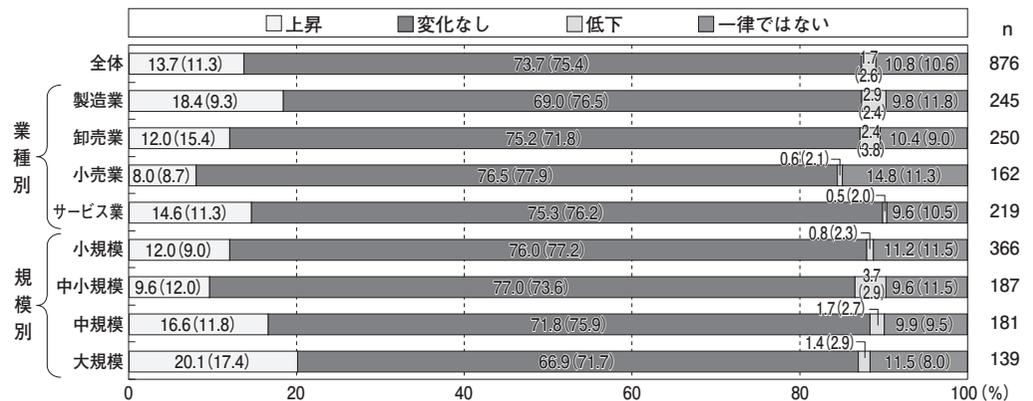
3. 主な取引金融機関からの借入金利

(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が73.7%（前回調査75.4%）と最も高い。また、「上昇」が13.7%（同11.3%）となり、「低下」の1.7%（同2.6%）を上回った。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業の「上昇」は18.4%（同9.3%）と高い。規模別にみると、大規模は「上昇」が20.1%（同17.4）と2割を超える。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

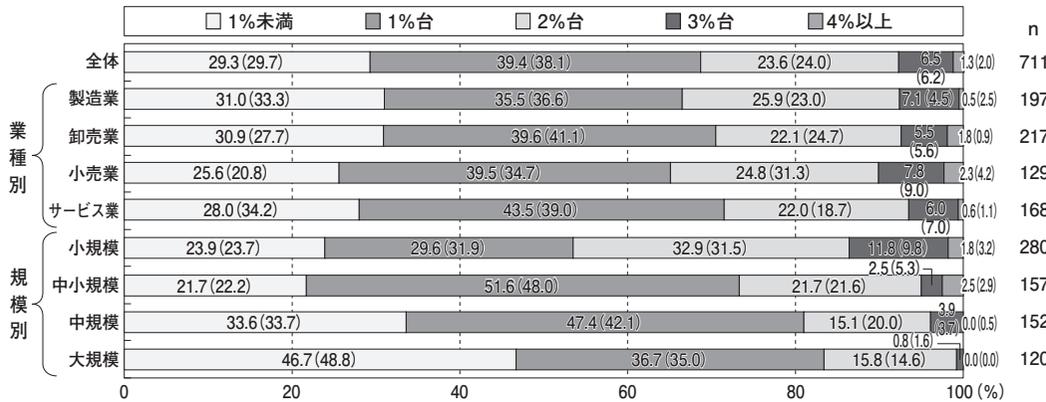
(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1%台」が39.4%（前回調査38.1%）と最も高く、「1%未満」が29.3%（同29.7%）、「2%台」が23.6%（同24.0%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて小売業は「1%未満」が25.6%（同20.8%）と低い。

規模別にみると、規模が小さくなるほど2%以上が高くなり、小規模は46.5%（同44.5%）となった。

図表4 金利水準



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

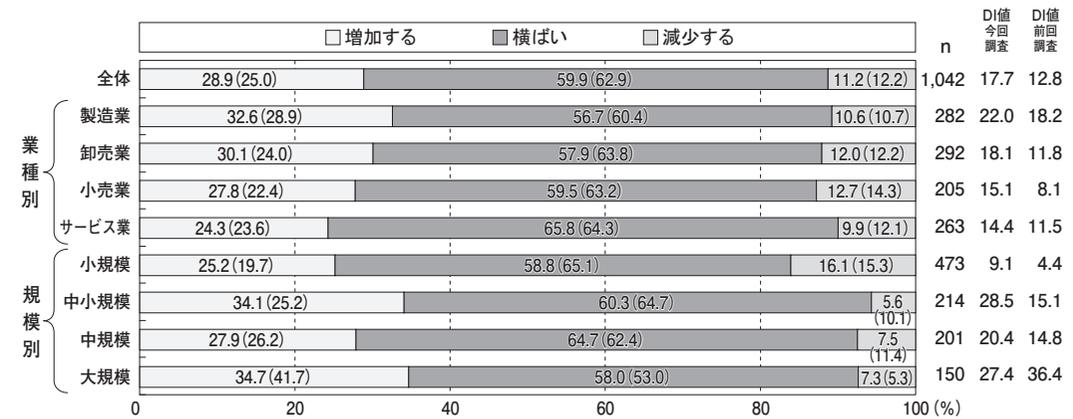
(1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値(「増加する」-「減少する」)でみると、全体では17.7(前回調査12.8)と前回調査と比べて4.9ポイント増加した。

業種別にDI値をみると、全ての業種で増加し、なかでも小売業15.1(同8.1)は7.0ポイント増加した。

規模別にDI値をみると、大規模27.4(同36.4)は9.0ポイント減少した。

図表5 資金需要(今後3か月間)

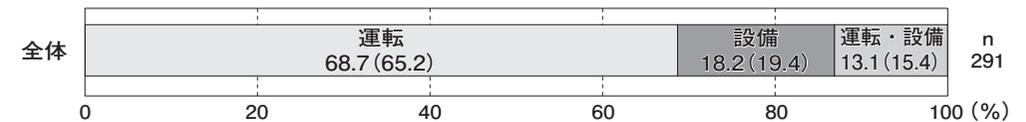


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が68.7%（前回調査65.2%）と最も高く、「設備」が18.2%（同19.4%）、「運転・設備」が13.1%（同15.4%）の順となった。前回調査と比べて「運転」は3.5ポイント増加し、「設備」は1.2ポイント減少した。

図表6 資金使途

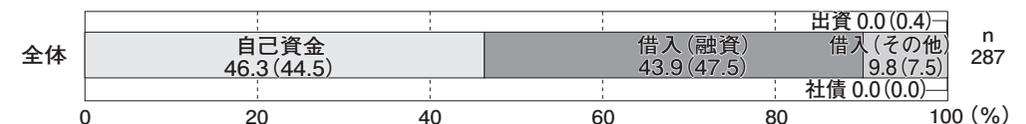


注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「自己資金」が46.3%（前回調査44.5%）と最も高く、次いで「借入(融資)」が43.9%（同47.5%）となった。前回調査と比べて「自己資金」は1.8ポイント増加し、「借入(融資)」は3.6ポイント減少した。

図表7 調達手段



注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和5年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

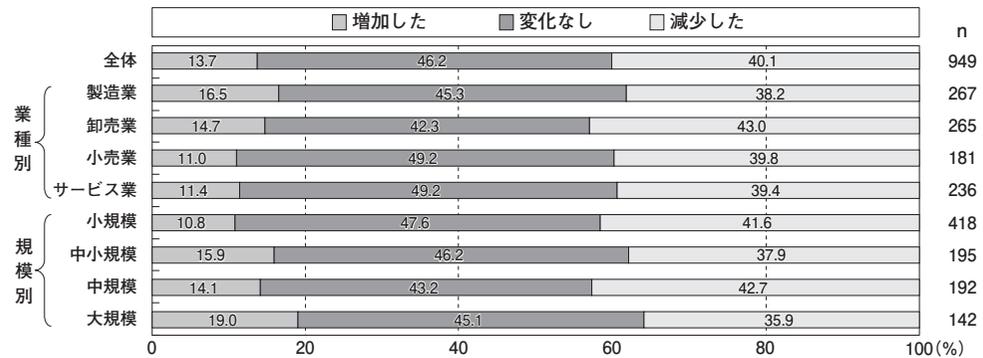
(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が46.2%と最も高く、「減少した」が40.1%、「増加した」が13.7%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「増加した」が16.5%と高く、卸売業は「減少した」が43.0%と高い。

規模別にみると、大規模は「増加した」が19.0%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

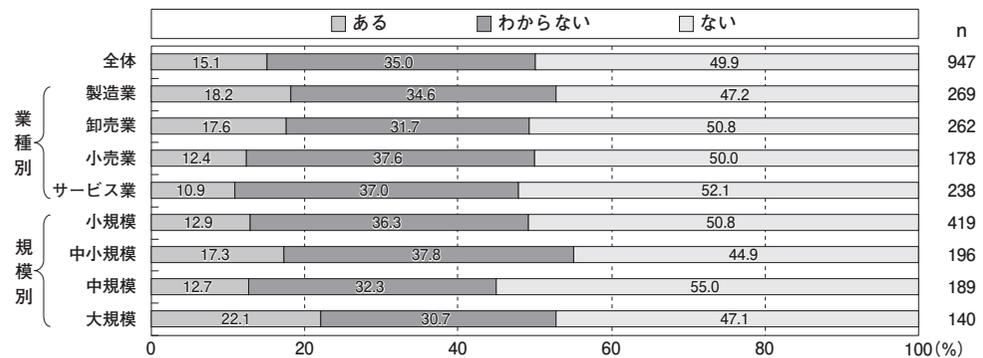
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が49.9%と最も高く、「わからない」が35.0%、「ある」が15.1%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「ある」が18.2%と高く、サービス業は「ない」が52.1%と高い。

規模別にみると、大規模は「ある」が22.1%と2割を超えた。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。